



素直な心で

3学期が1月10日から始まりました。始業式では、校長先生から「3つのバケツ」のお話がありました。その内容は、次の通りです。

今日は、3つのバケツと素直な心のお話をします。この3つのバケツに水を入れてみます。

白いバケツには、水がしっかりたまりました。

緑のバケツは、穴が空いているので水はたまりません。

赤のバケツは、ひっくり返っているので水が入りません。この水は、何を表していると思いますか。みんなのために、周りの人が、言ったりいっしょにやったりしてくれる言葉や行動です。つまり、この水は、先生やおうちの人、友達、上級生などがその人のために言ってくれることです。

白は、素直な心を持っている人。周りの人の話を聞いてどんどん成長します。

緑は素直な心が足りない人。せっかくのアドバイスも出てしまうので、成長が少なくなってしまう。



赤は、最初から人の話を聞こうとしない人。周りの人からの言葉で成長するチャンスはゼロです。

みなさんは何色の心を持っていると思いますか。校長先生は、全員に白のバケツのような素直な気持ちを持っていてほしいのです。

戸倉小学校の先生方は、みんなのことを一生懸命に考えてくれていますから、しっかりと受け止めて伸びて行ってほしいと思います。

学校の先生から、毎日たくさんの声が子ども達に届きます。認めたりほめたりするときの言葉、注意をしたり叱ったりするときの言葉、どちらも、子ども達が成長し、戸倉小学校の学校目標である「よく聞き 心かく考え やりぬく子ども」になるように届けている言葉です。その言葉を素直に受け止め、自分の心のバケツに入れていくことで伸びていくことができるのでしょうか。3学期も残り2か月。登校日数では32日間です。次学年へ自信を持って進級・進学できるように素直な心でがんばっていきましょう。

中国の小学生と交流

1月17日に中国杭州市高新実験学校の小学生46名と先生3名が戸倉小学校を訪れ、子ども達と交流しました。修学旅行のようなものですが、希望者が参加する形だそうで、3年生、4年生、5年生の子ども達でした。

おそろいのジャンパーを着た子ども達は、大雪の中バスで到着し、まず歓迎のセレモニーに参加しました。学校では代表児童が参加して、お互いの挨拶や記念品の交換などを行いま



ました。記念にいただいたのは高新実験学校の先生が描いたという絵でした。日本からはオルゴール箱を送りました。

その後は各学年に分かれての交流でした。それぞれのクラスがどんな交流をするか考えて用意しており、和やかな交流風景が見られました。

3年生は、学級園で育てたポップコーンを一緒に作って食べました。調理の仕方をジェスチャーで教えながらポップコーンをつまんで、距離が縮まったようでした。また、お互いの音楽の発表もしました。音楽会で発表したりコーダーを演奏すると、中国の子ども達も真剣に聴き入っていました。

4年生は、折り紙やじゃんけんゲームでの交流です。言葉は通じませんが、見て、真似して、コミュニケーション。じゃんけん列車では、同じ列車に日本と中国の子が繋がって楽しみました。

5年生は、鬼ごっこや、ぼうずめくりといった日本の遊びを体験しました。遊び方を理解し、楽しんでくれたようです。

交流をすることで、中国と日本の違い、中国と日本で変わらないことなどに気づき、新たな目を開くことができました。



日本一周達成!

12月にお知らせした全校のマラソンでの日本一周ですが、見事達成しました。全校での走行距離を合計したところ、1周をしさらに、2週目の東北地方まで行ったとのこと。みんなの力が合わさるとこんなすごい記録になるのです。

